

豊中市の分析結果の公表について

4月24日に実施されました「全国学力・学習状況調査」の分析結果について、豊中市の全体的な傾向を報告します。

全 体 の 傾 向	
小学6年生では	中学3年生では
国語、算数とも全国の結果とほぼ同様の結果を示しており、基本的知識は身につけていますが、知識を活用する力に課題が見られます。とりわけ「記述式」問題に課題があります。	基本的知識は身につけていますが、小学校と比べて知識を活用する力において課題がさらに大きくなっています。とりわけ「記述式」問題に課題があります。教科別では、国語に課題が見られます。
今 後 に 向 け て	
今回の調査結果を受け、基本的な知識の理解についてはさらに伸ばし、習得した知識を活かして課題を読み取り、自ら考えて表現できる力を育成できるよう、指導方法の工夫・改善に努めていきます。 また、質問紙調査との関連については、今後さらに分析を進めていきます。	

豊中市全体の状況について、「正答数分布」「領域・観点・問題形式別」「領域別の傾向」の3つのポイントから分析しました。

▼各教科の「領域・観点・問題形式別」は以下の通りです。

<p>【小学校国語】</p> <p>○領域：話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言語事項</p> <p>○観点：国語への関心・意欲・態度 話す・聞く能力 書く能力 読む能力 言語についての知識・理解・技能</p> <p>○問題形式：選択式 短答式 記述式(調査Bのみ)</p>	<p>【小学校算数】</p> <p>○領域：数と計算 量と測定 図形 数量関係</p> <p>○観点：数学的な考え方(調査Bのみ) 数量や図形についての表現・処理 数量や図形についての知識・理解</p> <p>○問題形式：選択式 短答式 記述式(調査Bのみ)</p>
<p>【中学校国語】</p> <p>○領域：話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言語事項</p> <p>○観点：国語への関心・意欲・態度 話す・聞く能力 書く能力 読む能力 言語についての知識・理解・技能</p> <p>○問題形式：選択式 短答式 記述式</p>	<p>【中学校数学】</p> <p>○領域：数と式 図形 数量関係</p> <p>○観点：数学的な見方や考え方(調査Bのみ) 数学的な表現・処理 数量・図形などについての知識・理解</p> <p>○問題形式：選択式 短答式 記述式(調査Bのみ)</p>

豊中市の分析結果概要 <小学校国語>

調査 A (主として知識に関する問題)	調査 B (主として活用に関する問題)
<p><正答数分布></p> <ul style="list-style-type: none"> 総問題数 18 問中正答数 16 問を頂点とする山型を描いており、裾野はなだらかな広がりとなっている。正答率は高く、多くの児童が今回出題された学習内容を概ね理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 総問題数 10 問中正答数 8 問を頂点とするなだらかな山型を描いており、調査 A に比べて拡散傾向が大きく、正答数の少ない層が厚いことが課題である。
<p><領域・観点・問題形式別></p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」(「書く能力」)、「言語事項」(「言語についての知識・理解・技能」)、「読むこと」(「読む能力」)については良好である。一方で、「話すこと・聞くこと」(「話す・聞く能力」)には課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」(「話す・聞く能力」)、「言語事項」(「言語についての知識・理解・技能」)については良好である。一方で「読むこと」(「読む能力」)、「書くこと」(「書く能力」)には課題がある。また、「記述式」の問題についてはどの領域においても課題がある。
<p><領域別の傾向></p> <p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話の要点を聞き取り、効率よくメモをとることや、聞き手にとってわかりやすいスピーチにするために大切なことを理解することに課題がある。 <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な事項を整理し、目的に応じて簡単に書いたり、書きかえたりすることは、多くの児童ができている。 <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明文を読み、書かれている内容を的確に捉えることは、多くの児童ができている。 <p>【言語事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文脈に即して接続語や指示語の役割を理解し、適切に使うことは、多くの児童ができている。 漢字を正しく読むことはできるが、書くことに課題がある。 叙述内容を分析し、文章の構成をかえることに課題がある。 	<p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 司会者としての役割や働きを理解し、発言者の提案を聞いて内容を整理したり、適切に進行したりすることは、概ねできている。 <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章から読みとった内容を要約することに課題がある。 <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章やグラフの資料を関係付けて読むことは概ねできている。 文章を読み比べたり、読んだ内容から自分の考えをまとめたりすることに課題がある。 <p>【言語事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 敬意表現を適切に用いることは、概ねできている。

豊中市の分析結果概要 <小学校算数>

調査 A (主として知識に関する問題)	調査 B (主として活用に関する問題)
<p><正答数分布></p> <p>・総問題数 19 問中正答数 19 問を頂点とする傾斜となっており、裾野はなだらかな広がりとなっている。正答率は高く、多くの児童が今回出題された学習内容を概ね理解している。</p>	<p>・総問題数 14 問中正答数 11 問を頂点とするなだらかな山型を描いており、調査 A に比べて拡散傾向が大きい。</p>
<p><領域・観点・問題形式別></p> <p>・他の領域に比べて、「数量関係」に若干の課題があったが、その他の領域では良好である。また、「数量や図形についての表現・処理」「数量や図形についての知識・理解」の観点においても良好である。</p>	<p>・いずれの領域・観点においても良好である。特に、領域では「図形」、観点では「数量や図形についての知識・理解」において良好である。一方で、「記述式」の問題においては課題がある。</p>
<p><領域別の傾向></p> <p>【数と計算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整数、小数、分数の計算は、多くの児童ができています。 ・小数の乗法の意味の理解に課題がある。 ・分数や小数を数直線上に表し、大きさを比較することに課題がある。 <p>【量と測定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形の面積や平行四辺形の面積を求める公式を理解し、面積を求めることは、多くの児童ができています。 <p>【図形】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形の三つの角の大きさの和や、平行四辺形の定義や性質については、多くの児童が理解できています。 <p>【数量関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四則の混合した計算において、計算の順序についての決まりの理解に課題がある。 	<p>【数と計算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・示された計算方法を理解し、それをもとにして数値の異なる問題を説明することに課題がある。 <p>【量と測定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・L字型の面積を求める問題では、式の意味を考えて求めることは多くの児童ができています。 ・説明をする際に、要点をふまえて表現することや、数学的な見方で考えて解決することに課題がある。 <p>【図形】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質を用いて考えることに課題がある。 <p>【数量関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読むことは多くの児童ができています。 ・帯グラフから変化の様子を読み取ることに課題がある。

豊中市の分析結果概要 <中学校国語>

調査 A (主として知識に関する問題)	調査 B (主として活用に関する問題)
<p><正答数分布></p> <ul style="list-style-type: none"> 総問題数 37 問中正答数 35 問を頂点とする山型を描いており、裾野はなだらかな広がりとなっている。正答率は高く、多くの生徒が今回出題された学習内容を概ね理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 総問題数 10 問中正答数 9 問を頂点とするなだらかな山型を描いており、調査 A に比べて拡散傾向が大きく、正答数の少ない層が厚いことが課題である。
<p><領域・観点・問題形式別></p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」(「話す・聞く能力」)は、良好である。また、「言語事項」(「言語についての知識・理解・技能」)についても良好である。一方で、「書くこと」(「書く能力」)と「記述式」には課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」(「話す・聞く能力」)については良好である。一方で、「書くこと」(「書く能力」)や「記述式」の問題には課題がある。また、「読む能力」や「言語についての知識・理解・技能」については、活用能力に課題がある。
<p><領域別の傾向></p> <p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 聞き手を意識して分かりやすい言葉を選んだり、話を聞いてメモを取る際に不足している情報を適切な表現で話し手に確かめたりすることは、多くの生徒ができています。 <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手紙の後付けの書き方についての理解に課題がある。 <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことは、多くの生徒ができています。 文脈における自然描写を的確に読み取る力に課題がある。 <p>【言語事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文の成分の照応に注意して書くことや生活の場面で敬語を適切に使うことは、多くの生徒ができています。 慣用句や四字熟語などを理解し、文脈の中で適切な語句を使うことは、多くの生徒ができています。 文脈に即して漢字を正しく読んだり書いたりすることに課題がある。 	<p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べたことを発表する際に、話す内容に応じて適切な資料を提示することは、概ねできています。 <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報を基に、根拠を明らかにしながら、自分の考えが適切に相手に伝わるように書くことは、概ねできています。 複数の資料から得た情報を整理して、伝えたい事柄や自分の考えを明確にして書くことに課題がある。 <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を収集し表現に生かしたり、作品の内容や表現上の特徴をとらえることは、多くの生徒ができています。 複数の資料を比較し、その違いを読み取り、読み取った事柄を説明することに課題がある。

豊中市の分析結果概要 <中学校数学>

調査 A (主として知識に関する問題)	調査 B (主として活用に関する問題)
<p><正答数分布></p> <p>・総問題数 36 問中正答数 36 問を頂点とするゆるやかな傾斜となっており、全体的に拡散傾向が見られる。正答数の少ない層が厚いことが課題である。</p>	<p>・全体の形状は山型を表しておらず、頂点があまり明確でない、なだらかな台形状を示している。学力の分布は拡散傾向が顕著となっており、調査 A に比べて正答数の少ない層がさらに厚くなっているのが課題である。</p>
<p><領域・観点・問題形式別></p> <p>・他の領域と比べて、「数量関係」に若干の課題があったが、その他の領域では良好である。また、「数学的な表現・処理」「数量や図形などについての知識・理解」の観点においても良好である。</p>	<p>・すべての領域、観点において課題がある。領域では「数と式」、観点では「数学的な見方や考え方」において、特に課題が大きい。また、「記述式」の問題においても課題がある。</p>
<p><領域別の傾向></p> <p>【数と式】</p> <p>・正・負の四則計算は多くの生徒ができています。</p> <p>・等式を目的に合うように変形することや、方程式の移項と等式の性質との関係の理解に課題がある。</p> <p>【図形】</p> <p>・図形については、多くの生徒が理解できている。</p> <p>・円錐と円柱の体積の関係の理解に課題がある。</p> <p>・空間での平面と直線の位置関係の理解に課題がある。</p> <p>【数量関係】</p> <p>・比例や平均の意味は、多くの生徒が理解できている。</p> <p>・反比例や一次関数の意味や性質の理解に課題がある。</p>	<p>【数と式】</p> <p>・少し複雑な条件を提示された場合に、筋道を立てて思考することに課題がある。</p> <p>【図形】</p> <p>・証明の中の誤りを指摘し、筋道が通るように証明することに課題がある。</p> <p>【数量関係】</p> <p>・グラフや表から情報を読み取り、条件に沿って処理することは、多くの生徒ができています。</p> <p>・一次関数のグラフの特徴を読み取り、説明することに課題がある。また、数学的に処理をして、問題解決の方法を説明することに課題がある。</p>